

基本方針 5

首都の風格

首都として風格ある
都心の美しさを創出する

スケール	キーワード	ページ
地域	48. 都市の門・・・・・・・・・・・・・・・・	112
	49. 通りの秩序・・・・・・・・・・・・・・・・	114
	50. 目標となる建造物・・・・・・・・・・	116
街区	51. 壁面の連なり・・・・・・・・・・	118
	52. 中心にふさわしい広場・・・・・・・・	120
外構	53. 迎えの設え・・・・・・・・・・	122
建築	54. 大きな構え・・・・・・・・・・	124
	55. 柱の表情・・・・・・・・・・	126
	56. 品格ある光・・・・・・・・・・	128

48. 都市の門



丸ビル・新丸ビル（丸の内二丁目、丸の内一丁目）

地域の明確な門として配置された見附や鳥居、橋などのように、建物や通りもまた、“都市の門”としての役割を担いうるものである。そうした門がつくられることで、地域の個性もより明確になる。

方針

見附や門の周辺では、それらの境界としての意味を損なわないようにする。個性的なまとまりを持つ地域の境界部では、領域の個性が明確に表現されるよう意匠を工夫する。

！ ヒント

門、見附、橋梁、通り、鉄道駅、鉄道のガード、交差点への顔向け、ゲート性の確保 など



◀牛込見附跡
(富士見二丁目)

江戸城外郭門の一つで、現在は道路を挟んだ両側に石垣の一部が残っており、地域の境界を示す存在感を醸し出す。



◀常磐橋
(大手町二丁目)

かつて外濠に架かる橋梁として整備され、現在は震災復興橋梁として石垣、公園と共に都市の門としての役割を果たす。



◀東京国際フォーラム
(丸の内三丁目)

雁行するボリュームと、滑らかな曲面によって有楽町と丸の内を大きくつなぐ。

49. 通りの秩序



行幸通り

品格ある建物が整然と立ち並んだ道路を骨格付け、
街路灯・ボラードなどのストリートファニチャーや舗装・街路樹が
秩序をもって整備されれば、
首都だからこそ見ることのできる奥行ある美しい景観がつくられる。

方針

首都らしい秩序の形成を目指し、沿道建物の建ち並び方やストリートファニチャー、舗装にこだわり、風格を感じさせる通りとなるように心掛ける。
通りに面する建築計画ではヒューマンスケールと通りの秩序に見合うファサードを計画し、歩く人に親しみやすい通りとする。

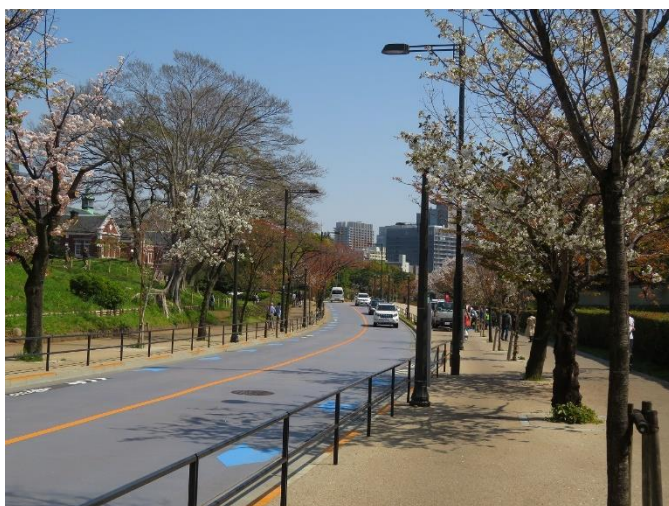
！ ヒント

無電柱化、建物ボリューム など



▲丸の内仲通り

車道、歩道、公開空地の路面の素材を工夫し路面全体の一体感を組み立てる。



◀代官町通り

格調高い空間となるよう舗装、街路灯、街路樹の質にこだわる。



◀神田すずらん通り

直線ばかりではない柔らかな曲線が秩序をつくる。

50. 目標となる建造物



国会議事堂（永田町一丁目）

すぐれた立地性や歴史性を兼ね備えている建造物は、
広く人々に共有化された地域のランドマークとなる。

方針

多くの人々に親しまれ共有されているランドマークを極力保全する。またその
周辺はランドマークを含めた風景が際立つよう努める。
立地が優れた場所に大きな建築物を計画する場合は、地域の新たなランドマ
ークとなることを意識してデザインする。

！ ヒント

ランドマークとしての意匠、ランドマークへの視認性の確保、周辺建築物のボリューム、
建物・広告物の形態意匠 など

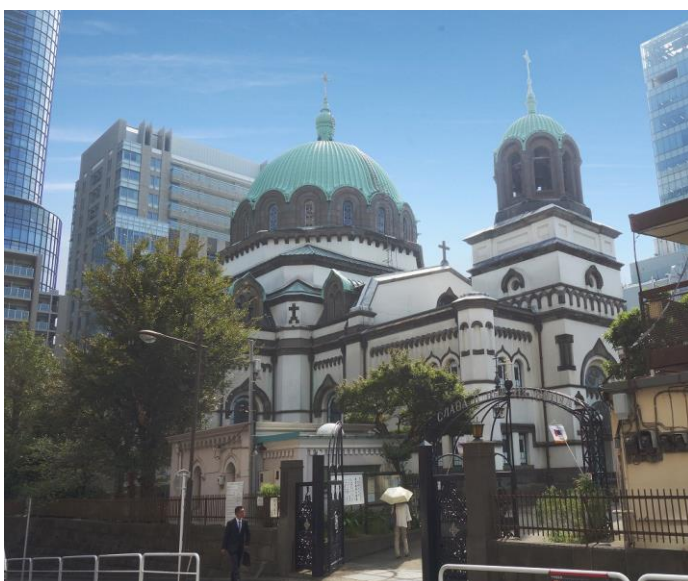
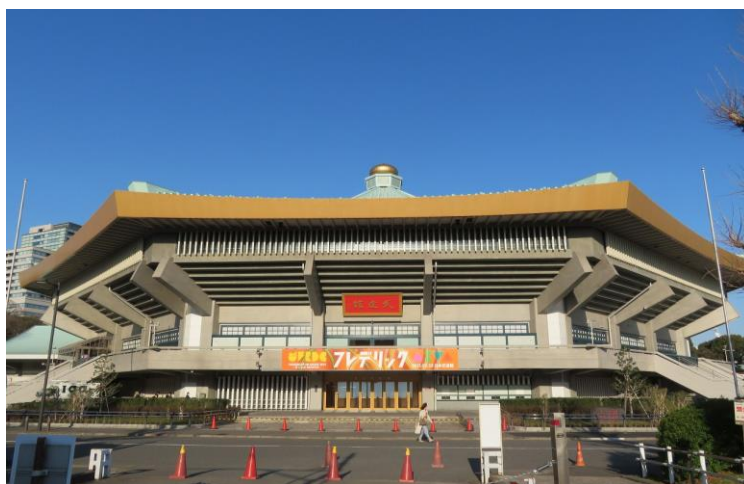


▲東京駅丸の内駅舎
(丸の内一丁目)

創建当時の復元と合わせて整備された駅前広場と行幸通りが駅舎を引き立てる。

日本武道館▶
(北の丸公園)

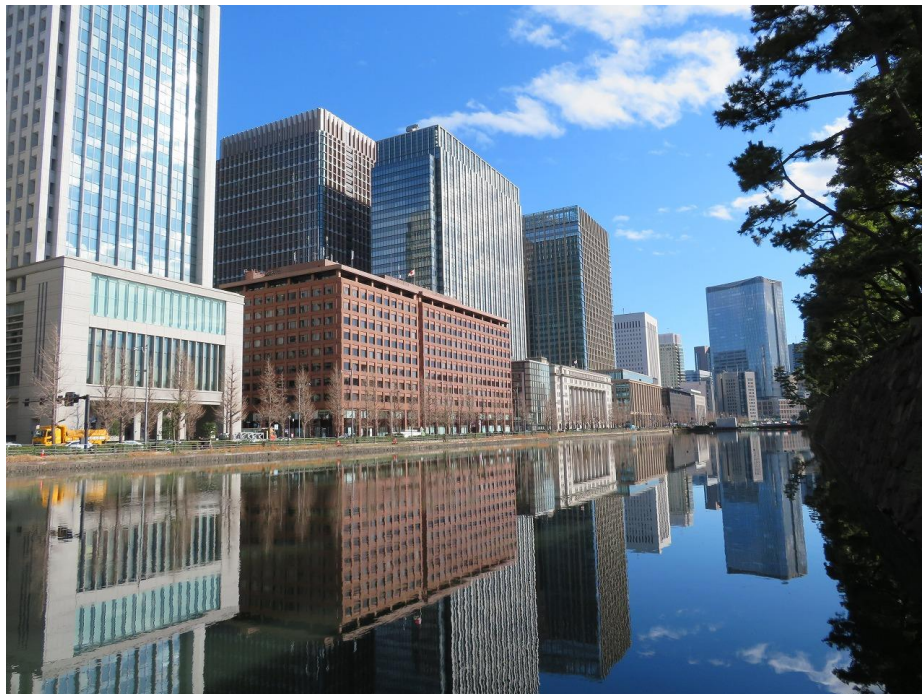
緑青の大屋根と頂部の装飾が特徴的でイベントも多く開催される。



◀ニコライ堂
(神田駿河台四丁目)

お茶の水台地の端部に位置し、対岸からのランドマークとなる。

51. 壁面の連なり



丸の内周辺の基壇部

建物の外観がつくる街区単位での表情が
街並みの個性をつくる。
通りに対して建物の壁面が連なり、
建物の高さが揃っている様子は、首都らしい街並みである。

方針

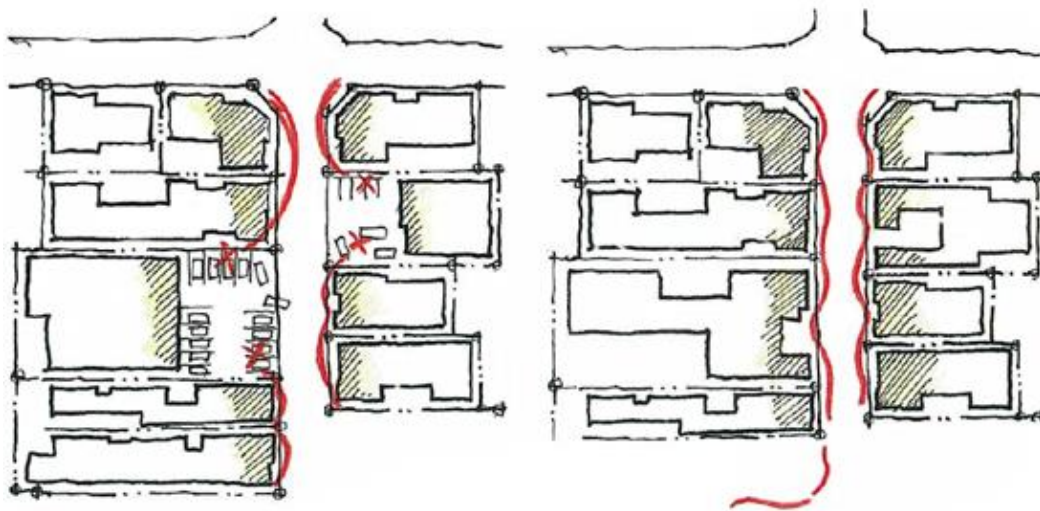
街並みの壁面のつながりを大切にして、通りに沿ってつなげていく。
特に街区型の街並みでは街路の縁に沿って建物正面を連ねるようにする。
また、建物の高さもそろえることで、首都らしい街区のまとまり感を生み出す。

！ ヒント

壁面位置、高さの統一 など

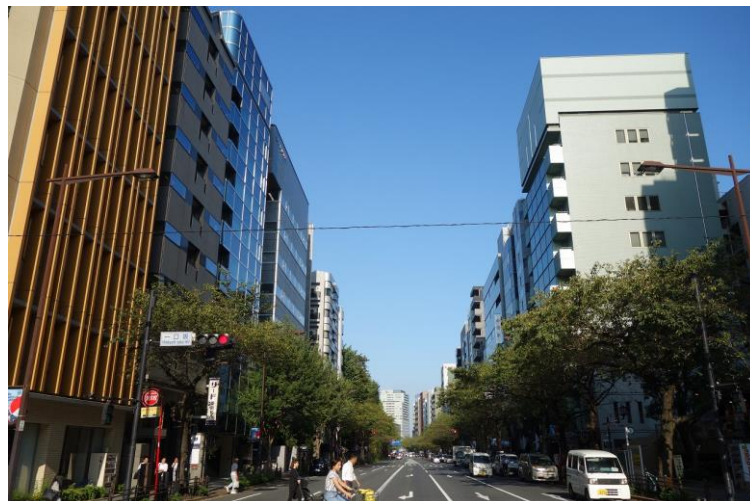
事例

街区型のまちで建物をセットバックする場合は、既存の街並みとのつながりをつける工夫をする。



靖国通り ▶

骨格道路としての
連続した壁面。



◀ 麹町大通り

骨格道路としての
連続した壁面。

52. 中心にふさわしい広場



皇居前広場（皇居外苑）

首都にふさわしい中心となる広場は、
常に尊重され続けるべきである。
周囲の建物が広場に配慮することで、
双方共に尊重し合うそこにしかない共生関係が生まれる。

方針

風格ある広場は、常に尊重される存在であることを意識する。

！ ヒント

たまり場、主要動線との接続、広場との連続性、ボリューム、
建物・屋外広告物の形態意匠 など



▲東京駅丸の内駅前広場
(丸の内一丁目)

首都にふさわしい大規模な歩行者空間を構える。

日比谷公園▶
(日比谷公園)

人が居なくても絵になる広場をつくる。



◀和田倉噴水公園
(皇居外苑)

斜めに交わる線、緩やかな曲線、アイストップなどを組み合わせて安らぐ空間をつくる。

53. 迎えの設え



英国大使館（一番町）

建物の入口は人を迎え入れる大切な場所である。
門や玄関を街並みの中に良い形で置くことは
利用者にとってわかりやすいだけでなく、
街並みにとっても重要である。

方針

玄関や門は、接近する道路から見えやすい位置に見分けやすい形で作る。
複数の玄関がある場合はそれぞれの役割に応じて見分けやすい入口を設ける。

！ ヒント

門・玄関と道の関係性、わかりやすいアプローチ、材質 など



◀上智大学（麹町六丁目）

大通りに対して大きなゲートを設けることで街並みの連続性をつくり出す。



▲都立日比谷高校（永田町二丁目）

学校の正門に歴史を感じさせる材料を用い、特徴的な意匠を施す。



◀西神田ファーストスクエア
（西神田三丁目）

潤いある緑のアーチによる迎え空間を形成する。

54. 大きな構え



丸の内二重橋ビル（丸の内三丁目）

大きな構えを備えた建物が整然と並んでいる街並みは、
首都らしい特別感を醸し出す。
首都の街並みを構成する建物は、
いつでもその構えから風格を感じさせる存在でありたい。

方針

首都を代表する場所の建築物は、大きく構えたものを設計する。
ゆとりあるプロポーションのエントランスに、風格を感じさせる素材を用いる
ことで、首都らしい品格を持った建築物となるように心掛ける。

！ ヒント

階高、不変的なデザイン など



◀神保町北東急ビル
(神田三崎町三丁目)

高層事務所建物としての大きなスケール感を踏まえた印象的なエントランス。



東京サンケイビル▶
(大手町一丁目)

広場に張り出した建物の一部が空間全体の水平基調を強く感じさせる。



◀明治大学グローバル
フロント
(神田駿河台二丁目)

ファサードのリズムをつくり出す門型の意匠とその高さが余裕を感じさせる。

55. 柱の表情



明治生命館（丸の内二丁目）

都市には建物まわりの柱、道路・橋を支える柱など数多くの柱がある。これらが単独に又は連続することで街路の景観をつくる重要な要素となっている。柱は単に機能的、構造的な問題を解決するだけでなく、その場所の魅力を表現できる力を持っている。

方針

柱のある場所の特性を踏まえ、これにふさわしい表現をする。
歩行路に沿った列柱は、歩く人のリズムに配慮する。

！ ヒント

地面と他の部材との接合部、橋梁の親柱、素材・質感 など



◀ 日生劇場
(有楽町一丁目)

装飾的で饒舌な上部
に対して寡黙な意匠を
組み合わせる。

麹町会館▶
(平河町二丁目)

重々しい門型の内側
の丸柱はスリットを切
って対比的に扱う。



万世橋▶
(神田須田町一丁目)

土木インフラの袂にも経年変
化する素材と意匠を施す。



56. 品格ある光



明治生命館（丸の内二丁目）

首都の魅力は、昼間だけのものではない。
夜間の風景を構成するのは、個々の建築物が放つ光である。
建物それぞれが場所性を踏まえた品格ある光を纏うことで、
首都らしい落ち着きのある魅力的な夜景を実現する。

方針

首都として落ち着きのある夜間景観の一部となる建物の光は場所柄に合うよう計画する。
また、高層ビルの頂部の光は夜のスカイラインを構成するため丁寧にデザインする。

！ ヒント

壁面、照明灯、頂部、見切り部、照明色温度、歴史的・文化的財産 など

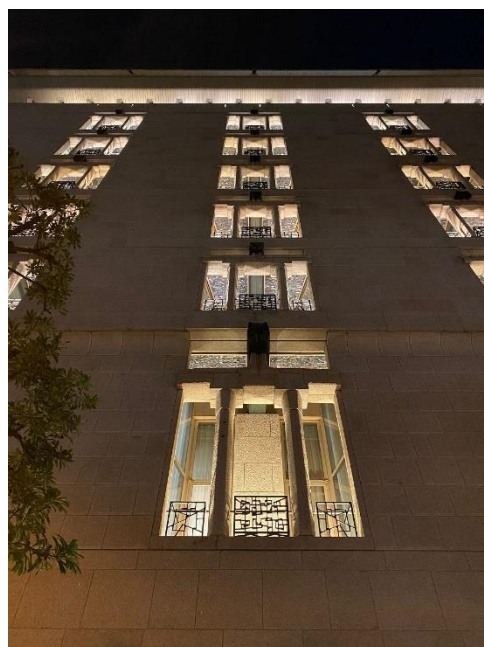


◀KITTE (JP タワー)
(丸の内二丁目)

ファサードを照らす光と、内側から漏れ出す光を組み合わせる。

日生劇場 (有楽町一丁目) ▶

アルコーブ状に窪ませた開口自体を光らせ、街路から目に入る天井にも意匠を施す。



◀万世橋 (神田須田町一丁目)

アールデコ調の橋梁灯に色温度を調整したライトが界限性を強く印象付ける。

千代田区景観形成マニュアル

発行 千代田区環境まちづくり部景観・都市計画課

東京都千代田区九段南1-2-1

電話 03(5211)3639

令和3年3月 策定